

／ 経営者・起業したい人の思いに寄り添う ／ Bizステーションたんば

☎ 新産業創造課（春日庁舎内） ☎ 74 - 1464

事業者と一緒に経営を考える

「売上げを伸ばしたい」「事業を引き継ぎたい」「起業したい」…。Bizステーションたんばは、昨年5月、みなさんの思いを聞き、相談できる場所として、市の委託事業で丹波市商工会本所内に開設されました。補助金の相談だけでなく、事業者と一緒に経営について考え、面談やセミナーなどを通して事業者のみなさんのサポートを行います。

専門のアドバイザーが相談に乗る

Bizステーションたんばでは、2人のアドバイザーが無料で何度でも経営や起業に関する相談に乗り、専門的なアドバイスをを行います。相談には、長年地域の事業者と関係構築してきた商工会の職員も同席し、次の相談日までに出てきた課題などについて、事業者に寄り添ってフォローを行います。

だれでも気軽に相談できる場所に

起業したい人も、すでに事業をしている人も、事業承継したい人も、それぞれに疑問や悩みを持っています。Bizステーションたんばでは、その思いに寄り添い、地域で働く人が笑顔になることを目指しています。

Bizステーションたんばで
できること

① ビジネスサポート

具体的な販売促進の方法、販路拡大のための事業者とのマッチング、インターネットの活用方法、農商工連携、6次産業化などの支援

② 起業支援

起業の心構え、起業計画書作成のアドバイス、個人開業・法人設立など各種届出の相談など

③ 事業承継サポート

家庭内・第三者問わず事業承継に係る各種相談など

④ 情報収集と提供

補助金の紹介や販路開拓につながる情報の提供など

※起業セミナー、販路拡大セミナーも実施しています。個人・法人・農業者など業種を問わず、だれでも利用できます。

■ 利用の流れ

- ① 電話またはFAXでアドバイザーとの面談の予約をとる
- ② アドバイザーとの面談
- ③ アフターフォロー

■ Bizステーションたんば（商工会館内） 平日午前9時～午後5時

☎ 86 - 7888 ☎ 82 - 7602

✉ bizst@tanba.or.jp



Bizステーションたんばを運営する丹波市商工会のみなさんとアドバイザーの三浦さん（前列左から2人目）



利用者1人ひとりに寄り添い、面談を実施



今年実施した起業セミナー



経営者の不安に寄り添いたい

アドバイザー
安田勝也さん
(中小企業診断士)

月に2回、経営に課題がある事業所や、事業を次の代に引き継ぐ事業承継の相談に乗っています。

経営者は弱音を吐きづらいもの。家族経営の悩みなどは、「ちょっと距離のある部外者」には話しやすいこともあります。しっかり話を聞くことで信頼関係を築き、不安に寄り添って、個々の事業者の状況にあわせて、実現できることをアドバイスするように心掛けています。

丹波市の人は「この地に根付いてがんばる」という意識が強い。半年くらいの長い時間をかけて何度も面談し、手続き面・メンタル面の両方で経営者を支えることで、お客さんが喜び、社員も楽しんで働ける良い会社を増やしていきたいですね。



起業を通じて丹波市の発展を目指す

アドバイザー
三浦真さん
(中小企業診断士)

私は主に起業する人の支援や、企業の新規事業の相談・新商品の開発支援などを行っています。起業する人の活動を通して、丹波市全体・地域経済がより良くなることを目指しています。

丹波市には「地域の役に立ちたい」という夢を持っている人が多いと思います。その人の夢をできるだけたくさん聞き取り、どうすれば実現できるのか、世の中とつながる方法を一緒に考えています。昨年・今年と5日間の起業塾を実施し、事業計画を作り、発表してもらいました。起業したい人同士がつながり、また私のネットワークも使ってもらいながら、広く世界とつながるきっかけ作りをしたいと思っています。

User interview



相談を通してサービスを工夫

芦田石油
代表 芦田浩至さん

これまでずっと、フルサービスのガソリンスタンドを運営してきましたが、時代の流れに合わせ、できるだけ安く商品を提供するために、昨年10月からセルフのスタンドに切り替えました。

初めての販売方法に不安があったので、商工会を通して安田先生に相談したところ、ディスプレイの展示方法などをこまめにアドバイスしてもらいました。「今までのセルフスタンドにないセルフスタンド」を目標に、年配の人たちに給油の手伝いをしたり、タイヤの販売やオイル交換も実施するなど、気軽に声をかけてもらえるよう心掛けています。

商工会は地元商店の良い相談窓口。利用して、地域の商店やまち全体が元気にできれば嬉しいです。



補助金申請の支援に感謝

令和元年10月開業
はた動物病院
院長 畑晃一さん

「はた動物病院」の開業にあたり、補助金の申請などを三浦先生に手伝ってもらいました。希望した県の補助金は、応募者が多く、採択率の低いもの。事業計画を分かりやすくまとめた書類の提出が必要だったので、自分の考えが審査してもらう人に伝わりやすいように、何度も文章の添削などをしてもらいました。第3者目線で、率直な意見をもらったことで、審査に通ることができたと思います。

はた動物病院では、飼い主が何に困っているのかしっかりと聞き取りし、支援することで、「人も動物も幸せになる関係」を目指しています。創業後も色々な面でサポートを受けられるので、今後も何かあれば相談していきたいと思っています。